

桜門体育学会平成 26 年度大会

大会報告

平成 26 年度（第 5 回）大会委員長

日本大学理工学部 准教授 重城 哲

1. 大会概要

平成 26 年度桜門体育学会大会は学会組織改組より第 5 回大会となる。大会は平成 27 年 1 月 25 日（日）に日本大学文理学部百周年記念館にて開催され、一般発表、学会企画シンポジウムと特別講演を主な内容として行われた。

一般発表は、百周年記念館多目的ホールにてすべてポスター発表形式で行われた。発表演題は、学部学生 42 題、大学院生 7 題、教員・研究員 2 題の 52 題であり、前回の 38 題を上回る演題数となった。特に大学院生や体育学科生は、研究活動の報告や研究成果を担当指導員だけでなく、他学部や他大学教員、大学院生、学部学生に広く発表する場となり、有意義な情報交換や意見交換の場となったようである。

特別講演には NPO 法人 Teach For Japan 代表の松田悠介氏を招き、「時代を切り開く次世代の指導者たちへ」をテーマとして、これからの時代に求められる教員採用や教員養成のあり方、これから求められる教員の資質について講演された。

学会企画シンポジウムでは、桐蔭横浜大学の佐藤国正氏、NPO 法人セブンスピリット代表の田中宏明氏、桐蔭横浜大学の渋谷崇行氏をシンポジストとして、NPO 法人 Teach For Japan 代表の松田悠介氏をコメンテーターに招き、九州工業大学大学院の磯貝浩久氏を司会として、「スポーツによる社会貢献の可能性を探る」をテーマに話題を提供いただいた。社会活動に対する参加者、実践者、研究者の異なった立場から、スポーツが有する社会貢献の可能性を視座として、スポーツによる国際協力の推進と貢献に対して、それぞれの立場からどのような連携や協力ができるのか、どのような課題があるのかについて議論いただいた。

本学会大会の開催にあたり、準備、運営を担っていただいた学会事務局はじめ、実行委員会委員と関係者の皆様に書面にて御礼申し上げます。

2. 大会内容

① 一般研究発表（ポスター）4セッション 52 題

座長：加藤 幸真（日本大学大学院）

吉田 明子（日本大学文理学部）

深見 将志（日本体育大学大学院）

伊佐野龍司（日本大学文理学部）

② 特別講演

「時代を切り開く次世代の指導者たちへ」

講師：松田悠介（NPO 法人 Teach For Japan）

③ 学会企画シンポジウム

「スポーツによる社会貢献の可能性を探る」

シンポジスト：

佐藤国正（桐蔭横浜大学）

田中宏明（NPO 法人セブンスピリット代表）

洪倉崇行（桐蔭横浜大学）

司会：磯貝浩久（九州工業大学大学院）

コメンテーター：松田悠介（NPO 法人 Teach For Japan）

④ 理事会

⑤ 総会

⑥ 懇親会